

令和 7 年度 第 2 回運営推進会議 報告書

上小阿仁村社会福祉協議会指定通所介護事業所

開催日時	令和 8 年 2 月 13 日（金）10 時～
出席者 6 名	利用者の家族：1 名 地域住民の代表（地区代表）：1 名 知見を有する者：1 名 村職員：1 名 事業所職員：2 名

【議事録】

開会の挨拶（管理者）

以前は 25 名定員の通所介護をやっていましたが、令和 3 年 8 月より 18 人以下の定員で行う地域密着型通所介護に移行し、県の指定から村の指定になり 16 人定員で行っております。この会議は地域の人と相談しながら、運営状況等をお伝えしご意見をいただくというものです。今年度 2 回目ということで、よろしくお願いします。

1，利用状況

	令和 5 年度			令和 6 年度			令和 7 年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4 月	53	150	203	56	190	246	64	167	231
5 月	56	175	231	59	167	226	52	162	214
6 月	55	193	248	55	163	218	52	163	215
7 月	51	190	241	52	189	241	54	180	234
8 月	40	199	239	39	176	215	61	175	236
9 月	46	181	227	41	174	215	55	187	242
10 月	53	193	246	48	180	228	60	190	250
11 月	56	184	240	51	160	211	61	163	224
12 月	55	194	249	60	153	213	73	146	219
1 月	55	180	235	57	154	211	64	123	187
2 月	58	187	245	50	142	192			
3 月	47	185	232	55	150	205			
合計	625	2,213	2,838	623	1,998	2,621			
前年比	121 人			△217 人					

令和 5 年度の 1 月までの累計は 2,361 名、令和 6 年度は 2,224 名、令和 7 年度は 2,252 名で昨年度より 28 名多い状況です。

キャンセルは昨年は 287 名、今年度は 240 名で、毎月 24～25 名位で特に何か傾向がある訳でもないです。

12 月分 L I F E フィードバック

LIFE とは科学的介護情報システムで、厚生労働省が管理・運営を行っています。介護サービスの質を科学的に向上させるために、利用者のデータを LIFE に提出し、フィードバックを受けることで算定されています。

平均要介護度 1.68

要介護度の割合

要介護度		1	2	3	4	5
当 事 業 所	9 月	57.2%	35.7%	0%	7.1%	0%
	12 月	50.0%	39.3%	3.6%	7.1%	0%
全国平均		47.5%	30.7%	13.1%	6.3%	2.4%

年齢の割合

年齢	65 歳未満	65～70 歳	70～75 歳	75～80 歳	80～85 歳	85～90 歳	90 歳以上
当事業所	0%	4.5%	4.5%	0%	4.5%	27.3%	59.2%
全国平均	2.1%	2.5%	5.7%	13.4%	23.0 %	27.7%	25.6%

平均年齢は 87.3 歳で全国平均より高くなっています。

平均年齢が高い割に要介護度が低く、機能訓練の効果が出ていると思われます。

A D L 合計点

当 事 業 所	9 月	80 点
	12 月	77.3 点
全 国 平 均		80.4 点

利用者数が少ないので、一人でも低下すると点数が下がりやすくなっています。

このようにデータ化されることにより、事業所内で会議や研修の資料として活用してい

ます。

2. 活動状況

- 9月 敬老会（フェイスタオルをプレゼント）、村の敬老会の日は終了後フラダンスの方が来訪され踊りを披露してくれました。
- 10月 生涯学習週間へ作品出展（お花紙で作ったぶどう）
- 12月 クリスマス会（鏡芳会と鏡松会の日本舞踊、プレゼント）
- 2月 節分（鬼退治ゲーム）、昼食で如月御膳（損保の食事を4月から取り入れ、行事食は豪華なものになっています。調理員が減ったことによりこれまで調理員が調理していましたが、冷凍で調理されたものが毎日届けられています。）

※日課として DAM を使った体操、カラオケ、ゲームや創作活動、個別に脳トレを実施しております。毎月第1週に誕生会を開催し、好きな飲み物を選んでいただいてケーキを食べ、ハッピーバースデーを歌い、職員手作りのバースデーカードを渡してお祝いしています。写真入りのバースデーカードはもらった後他の利用者に見せたりして喜ばれています。

3. 苦情の状況

0件

4. 事故・インシデント・ヒヤリハットの状況

1件 66才、男性、要介護2

10月27日 歩行中に膝が折れ、前かがみになり膝をついて転倒。怪我はしていません。

（原因）急に膝の力が入らなくなったと話していました。

（対策）異変を感じたら声をかけていただくようお話し、歩行訓練は職員が付き添って行っています。

5. 身体拘束

0件

6. 感染症対策

お迎え時体温測定をし体調確認、手指消毒を徹底。

マスクの着用、館内消毒、換気等基本的対策を継続。

7. 今後の活動計画

3月 ひな祭り

5月 端午の節句

毎月職員の内部研修を実施

事業継続計画や感染症等の研修を行っています。

8. 質疑応答

(委員) 月何日運営していますか。

(事業所) 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の週4日運営し月16～18日です。定員に対して81%来ていただいています。

(委員) このように人口の少ないのに、1回にこの位集まれるのはすごい。集落の会議があってもこの位集まる時がない。

(事業所) 利用人数は平年並みになると思われます。男性が少なく、女性の1/3位です。利用者のご家族の方にお伺いしますが、ご本人から利用について何か聞いていますか。

(委員) 楽しかったんだなっていう感じで帰ってきています。

今年は大雪で大変だったのではないですか。デイサービスの時間に合わせて除雪しなければならないから、今年は間に合わせれなかったと思う。事情があって短期入所を利用していたが助かった。

(事業所) 一人暮らしの方は除雪していない所が多く、お迎えの際職員が除雪したり、家の前まで車が入って行けず、数十メートル歩いていただいたりしました。また、2Wの車で行けない所もあり、家族に助けを求めた時もありました。

(委員) 要介護度3以上が少ないという事は、普段の活動が良いのではないか。

(事業所) 毎回自動販売機でオロナミンCを買って飲んでいる方がおり、それを楽しみにしているようです。

(委員) 自分で買い物する楽しみがあるのはすごくいいと思います。

(委員) 食事は行事食があるという事で、変化があって良い。今の冷凍食品は美味しいですし。

(事業所) 一番心配なのは感染症対策です。家庭にいる方が来るので、持ち込む場合もあるでしょうし、ここで感染する場合もあるので、お迎えの時検温して、ご家族から情報を得て、利用できるかを判断させていただいている。来てから帰っていただく場合もあります。今までは感染拡大したことはありません。

(委員) 去年玄関の寒い状況で非接触型体温計で検温して熱がなくて、センターに来た

ら熱があって、病院に行ったらインフルエンザだった。あの狭い車の空間にいて他の人にうつしたのではないかと心配した。すぐ連絡してもらえて良かった。こういう場合何日休んだらいいか予め知らせてくれるといいと思います。家族が感染した時も何日くらい遠慮してくださいとあればいいと思う。

(事業所) 今はコロナも第5類となっているので、家庭内で感染した方がいる場合の判断は難しいですが、社協ではスタッフも家族が感染した場合は休まれる方もいます。基本的対策を徹底的にやりましょう。なったら仕方ないという事で対応しています。

(事業所) 内部研修では身体拘束や事業継続、何か災害があった場合にお帰り頂くのか、事業を継続するのか。社会福祉協議会ではデイとヘルパー、杉風荘がありますが、基本杉風荘を守っていきましょうということでやっている。

デイではご家族と連絡しながら、安全を確保しながらお送りしますが、下手に動かない方がいい場合はここにいてもらいます。ご家族がご自宅にいない場合もあるので、ご家族と連絡を取りながら、夕方お送りすることになっている。

(委員) 以前大雨の災害で避難所に早めに行ったが、避難所からまた避難しなくてはいけなくなり、高齢者の移動は大変だった。慣れない避難所で宿泊したせいか、妙に興奮状態になり、次災害があった場合は短期入所で慣れた杉風荘にお願いしてもらおうようにケアマネに話してある。

(委員) 災害時の杉風荘の受け入れ定員は何人ですか。

(委員) 杉風荘の受け入れは、寝たきりの方ということで定期的に名簿を作成しており、現在6名位。

(委員) 友生園は介護的な物が揃っていないので、要介護者は杉風荘がいいと思います。以前災害で友生園に避難する人が100人位殺到し、逆に危ない状況になった。なので、友生園では福祉避難所として定員50名、みんなの家は20名にしている。

(事業所) いろいろ話題やご意見を出していただきありがとうございました。これをもちまして、令和7年度第2回運営推進会議を終了します。